しかし、わたしが与える水を飲む人は、いつまでも決して渇くことがありません。
わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠のいのちへの水が湧き出ます。

高松泉キリスト教会　ニュースレター

第 164 号（2023 年 10 月号）

いずみ

香川県高松市伏石町 2018-5
Tel & Fax 087-867-2302
http://izumichurch.holy.jp/
発行人　宮地　宏一

先月、小学 4 年生から通っていた横須賀中央教会の礼拝で、聖書のお話をしました。約 10 年ぶりの再会で、多くの方が代わる代わる私に「変わっていないね。全然、変わっていない」と言ってくださったのです。最初は何となく嬉しかったのですが、そのうち「ん？」と思い、「変わっていないじゃなくて、立派になったでしょ！」と反論しました。でも、みんなの心には全く響かなかったようで、その後も「変わっていない！」と言われ続けた私でした。私、少しは変わりましたよね･･･？？笑

今月も皆様とご家庭の上に、神さまからの恵みが豊かに注がれますように。　(2023. 10. 01)

“より良く”変えられる？

小さい子が変身グッズを身につけ、〇〇レンジャーや◯◯マンになりきっている姿は本当に可愛いですね。ところが、このような変身願望は年とともに、薄れていきます。それは自分がどんなに頑張っても、自分の思うように自分を変えることができないと気づき始めるからでしょう。しかも人生の中盤以降、変わって欲しくないところが変わってしまうのです。

例えば【髪の毛】少しずつ父に近づいてきています。【視力】メガネを変えるために視力検査をしたら、「老眼が入ってますね」と淡々と店員さんに告げられました。【体力】すぐに疲れます。娘の友だちに社交辞令で「お疲れ様です～」と言われたのに、ガッツリ「あ～疲れた！」と答えた自分にガッカリ。

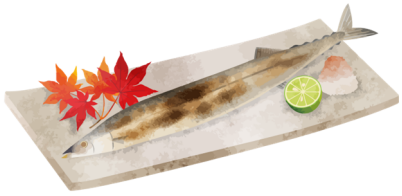
このような少しネガティブな変化をあげながらも、なお理想の自分に“より良く”変えられることを諦め切れていない自分がいるのです。もっと優しい人になりたいとか、もっと頼られる人になりたいとか。これは決して悪いことではないでしょう。でも改めて、なぜ私は“より良く”変わることを願っているのかを考えてみました。

その中で一つ明らかになったのは、“より良い”理想の自分になって、他の人から認められたいという願いが、私の内にあったということです。ですから理想の自分になれず、人から認められないと落ち込んでしまうのです。このような「承認欲求」が、誰しも多かれ少なかれあることでしょう。先日の新聞に、次のような記事がありました。

来月で生誕 300 年となるアダム・スミスの主著の一つ「道徳感情論」は、こんな書き出しで始まる。【人間というものをどれほど利己的と見なすとしても、なおその生まれ持った性質の中には他の人のことを心に懸けずにはいられない何らかの働きがあり･･･】。ゆえに他人の幸せに共感し、不幸を悲しむ。そう述べたスミスは、さらに逆からも考えた。人間は他の人から共感を得たくて仕方のない生き物なのだと。

【朝日新聞デジタル 2023. 5. 21「日曜に想う」より】

「私は私」「あなたはあなた」と割り切れたら、どんなに楽だろうかと思います。でも私たちは他の人に対して全く無関心ではいられません。何か気になってしまうのです。



私は人見知りですが、人が好きで、興味があります。色々な質問をして、その人の人となりを知りたいのです。一方で「他の人から共感を得たくて仕方のない生き物」であることも確か。「そうだよね～」「わかる！」「いいね！！」「私と一緒だ」なんて言われると、心の中でガッツポース。また「すごいね！」「頑張っている」「エライ」などと言われると、うれしくなるのです。このように認められること、共感されることを常に求めています。けれど、いくら共感されても、認められても、心が満たされないのです。

イエス様の時代、ザアカイという人がいました。彼は取税人（税務署の役人）のリーダーで、大金持ちだったのです。このように地位もお金もあった彼ですが、幸せではありませんでした。なぜなら人々から罪人と呼ばれ、嫌われていたからです。またザアカイは背が低かったとあります。このことで子どもの頃から、友だちに見下されていたのでしょう。そんな彼らを見返すために、一生懸命頑張って、取税人のリーダーとなって、お金もたくさん手に入れたのです。けれどザアカイを認めてくれる人はいませんでした。逆に、彼はどんどん孤立していきます。

ある時、ザアカイの住んでいた町にイエス様が来られるのです。彼はイエス様の姿を一目見たいと思います。でもイエス様の周りには大勢の人がいて、背の低い彼はイエス様を見ることができないのです。そのためイエス様が向かう先にあったいちじく桑の木に登ってイエス様を見ようとします。ザアカイは決して諦めませんでした。

このザアカイの熱意に応えてくださるかのように、イエス様は彼の登っていた木の下に来られます。そして上を見上げて「ザアカイ、急いで降りて来なさい。わたしは今日、あなたの家に泊ることにしているから」と声をかけられたのです。これを聞いたザアカイは、喜んでイエス様を家に迎えます。そしてイエス様に「自分の財産の半分を貧しい人に与え、脅し取った物があれば、4倍にして返す」と告げるのです。イエス様に出会った彼は、変えられました。イエス様が孤独な自分に共感してくださり、認めてくださったと知ったからです。ザアカイは自分が望んでいた以上の変化を経験したのです。

私たちもイエス様に出会うなら、他の人に認められたいという承認欲求から、少しずつ解放されていくことでしょう。それは私たちのすべてをご存じのイエス様が共感し、認めてくださることを知るからです。その結果、私たちは他の人の目を気にして、自分の力で“より良く”変えるのではなく、イエス様によって“より良く”変えていただきたいという思いが与えられるのです。

またイエス様によって“より良く”変えられるとは、私たちが立派になることを意味しません。逆に、より低く小さく弱くされるのです。これは私たちの理想とは、かけ離れているかもしれません。けれど低く小さく弱くされることによって、私たちはもっと自由にありのままで生きることができるのです。

ぜひご一緒に、イエス様に日々出会い、イエス様に“より良く”変えていただきましょう。

心を新たにすることで、
自分を変えていただきなさい。

- 礼　　拝　　毎週日曜日 10：30～12：00
- 祈 祷 会　　毎週金曜日 10：30～12：00
- イズミン・キッズ　毎週日曜日　9：30～10：20
- おやこ de えほん　毎週水曜日 10：30～13：30
- Friendly English　毎週木曜日 9：30～11：50（大人向け）